

乳幼児
向け

はじめに

絵本には、子どもたちを夢中にさせるワクワクドキドキがいっぱい詰まっています。

特に「のりもの」「おばけ」「きょうりゅう」といったテーマを扱った

絵本には根強い人気があります。

このブックリストでは、これら、札幌市えほん図書館でテーマ別に扱っている絵本から、

お薦めの絵本を紹介します。

ぜひ、これら絵本とともに、子どもたちと楽しい時間をお過ごしください。



2-3
歳向け

『ごろごろにゃーん』

作・画／長 新太

【出版社】福音館書店 【初版年月】1976.1

海にばかりと浮かんだ奇妙な形の飛行機。たくさんのネコたちがボートから乗り込み、「ごろごろにゃーん」と出発します。魚釣りをしたり、クジラに会ったり、イヌに追い立てられたり。どんな出来事にあっても「ごろごろにゃーん」と飛行機は飛んでいきます。にぎやかに楽しく飛んでいく様子が愉快で、「ただいまー」とネコたちが帰ってきた後に、また海に浮かぶ飛行機を見たくります。



3-4
歳向け

『とらっく とらっく とらっく』

作／渡辺 茂男 絵／山本 忠敬

【出版社】福音館書店 【初版年月】1966.7

トラックが荷物を乗せて走っていきます。いろいろな車を追い越して、ぐんぐんスピードを上げて走ります。そんなにスピードを上げて大丈夫？トラック以外にも工事車両や消防車など、たくさんの車が登場します。絵本とはいえ緻密に描かれた車体に、車好きのお子さんもおきっと満足するはず。道路標識も学べますよ。



のりもの



0-1
歳向け

『まかせとけ』

作／三浦 太郎

【出版社】偕成社 【初版年月】2007.6

パワーショベル、ダンプカー、ホイールローダー。子どもたちが大好きな働く車がたくさん登場。「はこんでください」「まかせとけ!」と、車たちが声を掛け合い、力を合わせて荷物を運びます。働く車の魅力が、リズムカルな文章とシンプルな絵でしっかりと伝わり、初めての乗り物の絵本にもお薦めです。「はたらくるま」シリーズは、ほかに『よいしょ』と『とどくかな』があります。併せてどうぞ。



3-4
歳向け

『ピン・ポン・バス』

作／竹下 文子 絵／鈴木 まもる

【出版社】偕成社 【初版年月】1996.10

駅前から出発し、「ピンポン」と鳴るたびにいろいろなところで停まるバスの日を、バスと運転手の目線で描いた絵本。バスに乗り降りする人だけでなく、信号待ちやバスが停まらない場所、終点後の様子なども登場し、バスと街の人々との心温かい交流がやさしいタッチで描かれています。巻末の運転席の図解も楽しく、働く車が好きなお子さんに、お薦めしたい1冊です。続編の『うみへいくピン・ポン・バス』も併せてどうぞ。



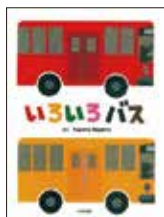
3-4
歳向け

『ふねくんのたび』

作・絵／いしかわ こうじ

【出版社】ポプラ社 【初版年月】2008.5

小さなふねくんが、手紙を届けに大きな港町を目指します。広くて大きな青い海では、面白い形の島や海の動物を見つけたり、時には嵐にあったり…。シンプルなおストーリーがカラフルな絵を引き立たせます。ふねくんと一緒に焦らずのんびり、晴れた空や夕焼けの映る海の色を楽しみながら旅をしてみましょう。ラストの観音開きのページは見どころがたくさん! 乗り物に興味がない子も楽しめる船の絵本です。



2-3
歳向け

『いろいろバス』

作／tupera tupera

【出版社】大日本図書 【初版年月】2013.5

赤いバスがやってきました。黄色いバスがやってきました。緑のバスがやってきました。そして…色とりどりのバスに乗り降りする、あんなモノやこんなモノ。思わず笑ったり、ビックリしたり。そして、それぞれのバスの運転手さんは、いったい誰でしょう。皆さんはどんなモノが乗ってきたらうれしいですか? ユーモアたっぷりの色遊び絵本です。



2-3
歳向け

『おやすみ、はたらくるまたち』

文／シェリー・ダスキー・リンカー 絵／トム・リヒテンヘルド 訳／福本 友美子

【出版社】ひさかたチャイルド 【初版年月】2012.9

クレーン車、ミキサー車、ダンプカーにブルドーザー、そしてショベルカー。人気の車が次々に登場し、広い工事現場で忙しく働きます。やがて、日が沈み、一日の仕事が終わると、それぞれの車はエンジンンを切ってゆっくりと目を閉じ、夢を見始めます。「はたらくるまたち」の力強さとかわいらささが、乗り物好きの子どもたちを、「おやすみなさいの世界」へと誘います。



4-5
歳向け

『すすめ! ゆきのきゅうじょたい』

文／竹下 文子 絵／鈴木 まもる

【出版社】金の星社 【初版年月】2015.11

6人の小さな救助隊が大活躍! 寒い冬でもすぐに出動するよ。大雪が降ってもみんなで力を合わせれば大丈夫。ホイールローダー・高所作業車・ヘリコプター・クレーン車・ダンプカー・ショベルカーの「はたらく車」と6人の子どもたちが、困っている誰かがいれば、助けに行きます。いつでも、出動できるように、「いち に いち に」とトレーニングも頑張っています。きじばとさんからの緊急連絡で、いざ救助隊の出番です。



4-5
歳向け

『ドライブに いこう』

作・絵／間瀬 なおかた

【出版社】ひさかたチャイルド 【初版年月】2004.5

ブルルン ルンルン、ドライブに出発! 丘を越え山を越え、花畑や滝、野原を過ぎてずっと遠くまで。切り抜かれたページをめくると、遠く山へと近づいていきます。山頂からの景色はパノラマのページで見応えたっぷり。ドライブで走り抜ける景色の中には、そこに暮らす人や動物たちが描かれています。一場面ごとに細かいところまでチェックする楽しさ。家族で車に乗ってお出かけしたくなる1冊です。



1~2
歳向け

『おばけなんてないさ』

絵／せな けいこ 作詞／槇 みのり 作曲／峯 陽
【出版社】ポプラ社 【初版年月】2009.7

童謡「おばけなんてないさ」を下敷きにした絵本。せなけいこさんの貼り絵のおばけが、かわいいような、怖いような…。歌詞は5番まであり、少し長めの絵本ですが、歌いながら楽しんで読み進められます。お子さんと一緒に歌を歌って、怖い気持ちを笑い飛ばしてしまいましょう。



4~5
歳向け

『おばけでんしゃ』

文／内田 麟太郎 絵／西村 繁男
【出版社】童心社 【初版年月】2007.6

お化けを乗せたお化け電車は、ようかい駅を出発します。火の玉が飛び交うくらやみ駅、雪女のいるさむさむ駅。そして終着のにんげん駅まで、駅から駅へとお化け電車は進みます。駅ごとに売られているお弁当やお菓子を注目してみたり、ようかい駅からにんげん駅まで、ずっと登場しているお化けを探してみたり、さまざまなお化けの姿を楽しんでください。終着のにんげん駅では、お化けたちがどんな姿になるのでしょうか。



4~5
歳向け

『おばけのてんぷら』

作・絵／せな けいこ
【出版社】ポプラ社 【初版年月】1976.11

食べることが大好きなうさこ。こねこくんが食べていた天ぷらがとてもおいしかったので、さっそく自分でも作ってみることにしました。ニンジン、イモ、サヤエンドウにカボチャ…。どんどん天ぷらを揚げていきます。でも、そのおいしそうな匂いにつられて、山のお化けがつまみ食いをしてやってきて、さあ、大変!うさこはお化けに気づくかな?



1~2
歳向け

『おばけのアイスクリーム屋さん』

作／安西 水丸
【出版社】教育画劇 【初版年月】2006.6

お化けのぼんちゃんは、森のアイスクリーム屋さん。森で出会った動物たちに、動物たちの姿そっくりな、アイスクリームを作ります。ウサギにはウサギちゃんアイス、ふたごのハトにはふたごのハトアイス。ぼんちゃんのアイスクリームは、森の動物たちに大人気です。ぼんちゃんからアイスもらった動物たちの喜ぶ様子がとてもかわいらしく、声に出して読んでみると、楽しい気持ちになりますよ。



2~3
歳向け

『こわくないこわくない』

文／内田 麟太郎 絵／大島 妙子
【出版社】童心社 【初版年月】2002.6

「かえらない」「ねむたくない」と反対のことがばかり言うまーくん。お化けに会っても、やっぱり「こわくない」と言います。まーくんを怖がらせようとどンドン怖くなるお化けと、がんばって「こわくない」と言い続けるまーくんのやり取りが楽しいです。あまのじゃくな年頃に読んでみましょう。



4~5
歳向け

『どろろんびょういんおおいそがし』

作／荻田 澄子 絵／かとう まふみ
【出版社】金の星社 【初版年月】2014.9

どろろん病院はお化けの病院。夜になると次々に患者さんがやってきて、お医者さんに治してもらいます。目が開かなくなった一つ目小僧や骨折した唐傘お化け。さて、どろろん先生はどんな治療をするのでしょうか?お化けの絵本ですが、怖がらせたり驚かせたりはせず、笑って読める楽しいお話です。最後にわかるどろろん先生の正体にも注目!続編にもいろいろなお化けが登場しますので、併せて読んでみてください。



5歳～
向け

『きもだめし』

作／新井 洋行
【出版社】講談社 【初版年月】2016.6

表紙に描かれた日本人形の不気味さと、黒地に赤字で書かれた「きもだめし」の文字が怖さを予感させます。縦開きの本を開くと「さあ きもだめし を はじめるよ!」でもね…。と人形がささやき、ページをめくると、人形の口がカバツと下に開き…。最後まで気が抜けない「背筋が凍るこわい絵本」を読む勇氣はありますか!?作者が「れいぞうこ」などの赤ちゃん絵本でお馴染みの新井洋行さんという意外性が面白いです。



3~4
歳向け

『こんたのおつかい』

作・絵／田中 友佳子
【出版社】徳間書店 【初版年月】2004.4

こぎつねのこんたはおつかいに出掛けます。お母さんからダメと言われているのに通ってしまった「もりのみち」。そこで出会ったものは?ほのぼのとした表紙から一転して、迫力のある天狗やお化けが登場。くるくる変わるこんたの豊かな表情から不安や驚きが伝わり、一緒にドキドキしています。さて、こんたは無事にお使いできるでしょうか?子どもの好奇心や成長する姿が描かれ、最後には温かい気持ちに。親子で楽しめる1冊です。



3~4
歳向け

『すみっこのおばけ』

作・絵／武田 美穂
【出版社】ポプラ社 【初版年月】2000.7

主人公の「ぼく」には秘密がある。それは机の下に小さなお化けが住んでいること。いつだって自分だけの味方で、何でも願いを叶えてくれる「空想のともだち」のお化けと一緒に辛いことを乗り越えていく主人公。そんな姿から前向きな想像力の大切さを伝えることができる1冊です。お化けが苦手なお子さんにもお勧めです。



『かくしたのだあれ』

作／五味 太郎
【出版社】文化出版局 【初版年月】1977.6

さあ、どこに隠れているのかしら。思いもかけないものが、思いがけないところにある面白さは、繰返し読んでも飽きることはありません。隠したものが、絵の中に上手に紛れ込んでいます。子どもと一緒に探してみよう。探し当てたときの子どもの得意げな顔を見ることがするのも、楽しみの一つ。隠されたものを探しながら動物の数を数える、という違った読み方もできます。



0~1
歳向け



2~3
歳向け

『とこちゃんはどこ』

作／松岡 享子 絵／加古 里子
【出版社】福音館書店 【初版年月】1970.7

お気に入りの帽子をかぶったとこちゃん。すぐにとことこ駆け出して、どこかへ行ってしまいます。いなくなったらとこちゃんを、赤い帽子を目印に見つけてみましょう。とこちゃんの周りの人たちは何をしているのかな？よく探すと知っているあのキャラクターたちが見つかるかも。まずは自分の知っているものや動物から探すのもいいですね。ぜひページの隅々まで親子で一緒にチェックしてみてください。



3~4
歳向け

『コングらがったどっちにすすむ？の本』

作／ユー・フラテス
【出版社】小学館 【初版年月】2009.3

何かと何かがこんがらがってできた生物「コングらがった」。こんがらがったの「いぐら」と一緒に道を選んで旅をしましょう！どっちに進んでも間違いではありません。それぞれ楽しい、何度も遊べる絵本です。迷路や探し物の絵本ほど複雑ではないので、道を指でたどりながらゆったり楽しんでください。シリーズが他にもたくさん出ていますので、お気に入りの1冊を見つけてみてくださいね。



4~5
歳向け

『ミッケ！』

写真／ウォルター・ウィック 文／ジーン・マルゾーロ 訳／糸井 重里
【出版社】小学館 【初版年月】1992.8

いろいろなものがちりばめられた写真の中から、目当てのものを見つけられるかな？見つけたら元気に「ミッケ！」と言いたくなります。お題のものが全部見つかったら、親子や友達同士でお題を出し合うのも面白いですね。大人のほうが熱中してしまうこともあるかもしれません。いつまでも、何度も楽しめる絵本です。



5歳～
向け

『もりのえほん』

文・画／安野 光雄
【出版社】福音館書店 【初版年月】1981.2

この絵本に言葉は一切出てきません。絵本に描かれているのは森の風景のみ。色使いも決して派手ではありません。しかし、目を凝らしてよく見ると、静寂の中に動物たちの息使いが感じられます。森の中に隠された動物たちをじっくりと、さまざまな角度から観察してみてください。



3~4
歳向け

『パンダくんの おにぎり』

作・絵／いしかわ こうじ
【出版社】PHP研究所 【初版年月】2009.10

お母さんと山登りに出かけたパンダくん。頂上でお弁当を食べようとしたら、落としてしまいます。おにぎりは、ころころと坂を転がって、どこにいったしまったのかしら。おにぎりを追いかけて、初めに会ったシマウマさんに尋ねます。「ぼくのおにぎり、どこー？」パンダとおにぎり、そして、おにぎりを探し求め次々に出会う動物たちには、共通点がありました。それは、みんな…。無事におにぎりは、見つかったのでしょうか。



4~5
歳向け

『どこどこどこ』

作・絵／長谷川 義史
【出版社】ひかりのくに 【初版年月】2004.1

長谷川義史さんの描くダイナミックで明るい色彩の愉快な絵本です。いろいろな、いろいろな物が、思いがけない所に隠れていて、何度読んでも新しい発見があります。銭湯やお祭り、回転ずし屋の風景がユニークだったり、電車の中吊り広告の文章やおでん屋のメニューなどを見つめるとクスッと笑えるものがあつたりします。場面ごとに登場する表情豊かな人物たちをじっくり見てみると、より楽しさが増しますよ。



『きょうりゅうきょうりゅう』

作・絵／バイロン・バートン 訳／なががわ ちひろ
【出版社】徳間書店 【初版年月】2000.7

「おおむかし きょうりゅうがいた」で始まるこの絵本。たくさんのカラフルでかわいらしい恐竜が出てきます。「角が生えたもの」や「尻尾にこぶのあるもの」など形や大きさを挙げているものから、「戦うもの」や「逃げたもの」など行動に触れているものまでさまざま。はっきりした色使いと愛嬌のある絵なので、怖がりなお子さんにもお薦めです。



1~2
歳向け



4~5
歳向け

『さがそう!マイゴノサウルス』

作／やました こうへい 監修／真鍋 真
【出版社】偕成社 【初版年月】2015.8

迷子になった恐竜の仲間を探さがしもの絵本。ページいっぱいにはたくさんの恐竜が食べたり、走ったりと活動する様子が描かれています。探し絵遊びを楽しむだけでなく、恐竜の知識を深めることもできる内容です。全部で228種類の恐竜が登場。種類や特徴がやさしく解説され、ちょっと難しい進化や歴史についても紹介されています。お子さんの興味や成長によって楽しみ方を変えることができるので、何度も読み返したくなる1冊です。



4~5
歳向け

『シモンのおとしもの』

作／バーバラ・マクリントック 訳／福本 友美子
【出版社】あすなろ書房 【初版年月】2007.3

うっかりやさんのシモン。学校からの帰り道、お姉ちゃんのアデルに「おとしものをしないようにかえろうね」と言われたのにも関わらず、マフラー、手袋、帽子など次から次へと落としものばかり。シモンの落としものは無事見つかるかな？20世紀初めのフランス・パリの街を楽しみながら、みんなも一緒にシモンの落としものを探してあげてね。



3~4
歳向け

『おはようきょうりゅう』

文／木坂 涼 絵／福岡 昭二
【出版社】教育画劇 【初版年月】2008.5

ページをめくるたびに迫力ある恐竜が登場！壮大な自然の中、のびのびと暮らす様子が描かれています。朝日を浴びて目を覚まし、月を見ながら眠る。恐竜たちも私たちと同じように、一日一日を過ごしていました。美しい風景により時の流れが感じられ、恐竜が本当にこの地球上に生きていたことが伝わります。詩のように短く、心地よいリズムで恐竜が紹介されています。言葉遊びが楽しく、恐竜に興味を持つきっかけになる絵本です。



3~4
歳向け

『トリケラとしゃかん』

作／五十嵐 美和子
【出版社】白泉社 【初版年月】2013.3

小さな女の子が雨宿りに駆け込んだ見慣れない大きな建物。そこはなんとトリケラトプスの図書館だった！トリケラトプスたちに囲まれても、その不思議さを気にも留めずに本を借りていく女の子。恐竜が登場する絵本でありながら、図書館の楽しみ方も教えてくれる絵本です。女の子とトリケラトプスたち、それぞれの目線から楽しめます。ぜひ、繰り返し読んでみてください。



4~5
歳向け

『きょうりゅうのたまご』
作・絵／なかがわ ちひろ
【出版社】徳間書店 【初版年月】2000.4

恐竜好きの男の子のところに、卵を探しているお母さん恐竜がやってきました。男の子はお母さん恐竜と一緒に、遊園地、博物館など「恐竜くさい」ところを探して回りますが見当たりません。それなら「ここだ!」と男の子はショベルカーを見事に操って地面の中へ。果たして卵は見つかったでしょうか。大きなお母さん恐竜が街を歩く姿や地中深くショベルカーで突き進む男の子の姿にワクワクします。恐竜好きな子はもちろん、乗り物好きな子にもぴったりの絵本です。



4~5
歳向け

『きょうりゅうたちのおやすみなさい』
文／ジェイン・ヨーレン 絵／マーク・ティグ 訳／なかがわ ちひろ
【出版社】小峰書店 【初版年月】2003.6

お父さんやお母さんが「もうねなさい」って言いきたら、恐竜はどうする?だだをこねたり、布団に突っ伏したり、大きな恐竜が寝るのをいやがって暴れる姿は、迫力があるけどなんだかかわいらしくも見えます。寝る前は恐竜のようになってしまいう子どもたちとそのママとパパのために描かれたこの絵本。読んだら最後はきっと親子でニコッとしますよ。部屋の中にさりげなく書かれた恐竜の名前も探してみましょ!他にもシリーズがあります。



昔話(日本)

『ふくろうのそめものや』
文／松谷 みよ子 絵／和歌山 静子
【出版社】童心社 【初版年月】1991.6

昔、真っ白だったカラス。ある日、他の鳥たちがおしゃれなことに気が付きました。カラスは教えてもらったフクロウの染物屋さんを訪ねて、いろいろな色に染めてもらいますが…。大人でもテクリと胸に突き刺さる内容の民話ですが、松谷みよ子さんならではのテンポがよく優しい文章で、するりと心に入ってきます。読み聞かせにもお薦めです。松谷みよ子の「あかちゃんのむかしむかし」シリーズの1冊。



1~2
歳向け



4~5
歳向け

『チョキチョコおじさんきょうりゅう王国』
作／まつおか たつひで
【出版社】岩崎書店 【初版年月】2009.3

おじさんがチョキチョコはさみを動かして作った恐竜の子が、お母さんを探していろいろな恐竜を訪ねます。ところが、おじさんが途中で怖い恐竜を作っちゃうから、さあたいへん! お母さんに無事会えるでしょうか?『びーん』や『だんごむしそらをとぶ』などでおなじみの松岡達英さんが精巧な切り絵で描く恐竜王国の冒険物語。自然の厳しさを丁寧に描いているのにユーモアたっぷり、恐竜大好きなお子さんにお薦めです。



4~5
歳向け

『ほね、ほね、きょうりゅうのほね』
作／パイロン・パートン 訳／かけがわ やすこ
【出版社】ポプラ社 【初版年月】2017.6

ほねはないか、ほねはないか。恐竜の骨を探して歩いて、見つけたら博物館へ運んで組み立てます。出来上がったら、また次の骨を探しに。ストーリーも絵もシンプルですが、恐竜の化石がどうやって元の形に復元されるのかわかります。カラフルではっきりとした絵とリズムカルな文章で、楽しく恐竜発掘のロマンが体験できます。巻末にはいろいろな恐竜の紹介も載っています。



2~3
歳向け

『かえるをのんだととさん』
再話／日野 十成 絵／斎藤 隆夫
【出版社】福音館書店 【初版年月】2008.1

ある日、お腹が痛くなってしまったととさん。困ったととさんはお寺の和尚さまに相談してみると、「かえるをのむといいぞ」と言われました。そこでカエルを捕まえ、べろっと飲みこむと…。果たしてととさんのお腹は治ったでしょうか?繰り返しの展開が楽しいユーモラスな1冊です。



3~4
歳向け

『へっこきあねさ』
文／長谷川 摂子 絵／荒井 良二
【出版社】岩波書店 【初版年月】2004.9

「どっばーん!」「どっばーん!」「どっばーん!」さて、何の音でしょう。それはお嫁さんのあねさが放つおならの音。人を飛ばすほど大きくて困ったおならでしたが、おならで柿を採ったり、大根を抜いたりで大活躍。今も昔も子どもたちが大好きなおならのお話です。ぷりっとかわいいおしりを出して、吹っ飛ばしたり、吸い寄せたりする姿に子どもたちは大喜び。素朴でかわいらしい絵から、このお話の面白さと温かさが伝わります。



5歳~
向け

『これがほんとの大きさ! 続』
作／スティーブ・ジェンキンズ 訳／佐藤 見果夢
【出版社】評論社 【初版年月】2008.7

絶滅してしまった古代の生き物を、実際に目にする機会はこの先ないでしょう。この絵本は、古代の生き物が、そのままの大きさに切り絵によって鮮やかに描かれており、大きさを実感できるようにしています。体長60cmの世界一小さい恐竜サルトルプスの実際の姿。そして、史上最大の肉食動物ギガノトサウルスの歯などが、画面いっぱいに描かれています。この絵本を読んで、生きていたころのことを想像すると楽しいでしょう。



5歳~
向け

『実物大恐竜図鑑』
著／デヴィッド・ベルゲン 日本語監修／真鍋 真 訳／藤田 千枝
【出版社】小峰書店 【初版年月】2006.5

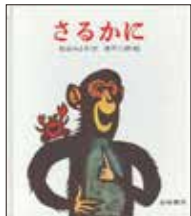
大迫力の実物大イラストがざっしり詰まった大きな絵本です。日本の恐竜研究の第一人者である、真鍋真・国立科学博物館地学研究官が監修をしています。恐竜の質感まで分かるようなリアルな大迫力のイラスト、大型本ならではの細かい描写など、巨大な恐竜に遭遇するような感覚を味わえます。「実物大」スタンプのあるページで、自分の手の大きさと比べてみましょう。



4~5
歳向け

『こぶじいさま』
再話／松居 直 画／赤羽 末吉
【出版社】福音館書店 【初版年月】1980.7

ひたいにコブのあるおじいさん。山へ木を切りに行ったものの、日が暮れて家に帰れなくなってしまいました。おじいさんは仕方なく山の神様のお堂に泊ることにしましたが、夜中になってお堂に近づいていくつもの影が…。さて、おじいさんはどうなるのでしょうか?おじいさんのコブの行方も気になります。淡い色調で描かれた定番の民話絵本です。



4~5
歳向け

『さるかに』
文／松谷 みよ子 絵／滝平 二郎
【出版社】岩崎書店 【初版年月】1967

カニが、「はよう めをだせ かきのたね」「おおきくならんと はさみできるぞ」と歌いながら水やりをし、柿の種を育てている様子がかわいらしく、一緒に歌いながら読みたいくなります。全ページ、切り紙で表現されていて、カニや木の葉も、1枚ずつはさみで切られた絵になっています。白い背景にくっきりと表現された登場人物たちがいることで、より登場人物たちの動きを面白く感じることが出来る絵本です。



4~5
歳向け

『さんまいのおふだ』

再話／水沢 謙一 画／梶山 俊夫
【出版社】福音館書店 【初版年月】1985.2

寺の小僧さんは山へ花を切りに出かけましたが、日が暮れて道に迷い、白髪のおば婆の住む一軒家に泊めてもらいました。ところが夜中に目を覚ますと、おば婆は恐ろしい鬼婆になって小僧を食べようとしています。小僧は便所に行きたいといってその手を逃れ、便所の神様から3枚の札をもらって逃げ出します。語り口調を生かした再話による、スリルとユーモアを兼ね備えた新潟の昔話絵本です。



4~5
歳向け

『だいくとおにろく』

再話／松居 直 画／赤羽 末吉
【出版社】福音館書店 【初版年月】1967.2

大工が川に橋を架けようと悩んでいると、鬼が出てきて「目玉をくれれば橋をかけてやる」と持ち掛けます。名前を当てれば許してもらえそうですが…。恐ろしくもまぬけな鬼といいかげんな大工の駆け引きは、昔話ならではの面白さです。昔話らしい、けれども古くさくならないこの絵本は、大人でも子どもでも楽しめますよ。



2~3
歳向け

『てぶくろ』

絵／エウゲーニー・M・ラチョフ 訳／うちだりさこ
【出版社】福音館書店 【初版年月】1965.11

おじいさんが森に落としていった片方の手袋。「すてきなうち」と、動物たちが次々に入ってきます。ネズミにカエル、ウサギやキツネ、果ては大きなクマまで！たくさんの動物たちで今にもはち切れそうな手袋に、はらはらしてしまいます。寒い冬の、雪の上でのお話なのに、とても温かい物語です。



3~4
歳向け

『こびととくつや』

原作／グリム 絵／カトリーヌ・ブランド 訳／藤本 朝巳
【出版社】平凡社 【初版年月】2002.2

昔、あるところに正直者の貧しい靴屋がいました。靴屋が靴の制作を途中で寝てしまうと、あらビックリ、次の日の朝、靴が出来上がっていました。その靴の出来栄は素晴らしく、すぐにお客さんが買っていってくれました。その日からというもの、毎晩同じことが起こります。不思議に思った靴屋がこっそりと様子を見てみると…。小人と靴屋の間に会話はありませんが、お互いを思いやる気持ちが静かに伝わってきます。柔らかなイラストが美しい優しい絵本です。



5歳～
向け

『ききみみずきん』

文／木下 順二 絵／初山 滋
【出版社】岩波書店 【初版年月】1956.12

働きもの藤六がお父さんの形見の頭巾をかぶって出掛けると、なんと鳥の声が聞こえるように。その頭巾を使って長者の娘さんを助けようしますが…。優しく語りかけるような文章と美しい挿絵で描かれる昔話絵本です。発行から50年以上経つので、お父さんやお母さんも子どもの頃に読んでいたかも。今読んでても色あせないレトロな魅力の1冊。他に「うりこひめとあまんじゃく」のお話も読めます。



5歳～
向け

『ももたろう』

文／松居 直 絵／赤羽 末吉
【出版社】福音館書店 【初版年月】1965.2

表紙に描かれたももたろうは、力強さを備えた賢く、リリしい男の子。イヌとサル、キジが鬼退治にお供をしなくなるのも納得です。ももたろうが、生まれる瞬間の表現「ももが じゃくっと われて、なから かわいい おこのこが、ほおげあ ほおげあ」といって うまれました」なんとも愉快です。鬼退治から戻ったももたろうたちを迎えたおじいさんおばあさんは大喜び。めでたしめでたしの昔話を楽しくみください。



3~4
歳向け

『三びきのやぎのがらがらどん』

絵／マーシャ・ブラウン 訳／せた ていじ
【出版社】福音館書店 【初版年月】1965.7

橋の向こう側で、たくさん草を食べようと考えた3匹のヤギ。小さなヤギ、中くらいのヤギ、大きなヤギ、みんな名前は「がらがらどん」。橋を渡っている途中に、谷に住むトロールに出くわしてしまいます。小さなヤギの機転によって、小さなヤギと中くらいのヤギはトロールから逃げて橋を渡ることができました。とうとう、一番大きくて強いヤギが渡る番となり、トロールに勝負を挑みます。大きいヤギも無事に橋を渡ることができるのでしょうか？ノルウェーの昔話です。



4~5
歳向け

『いそっぷのおはなし』

原作／いそっぷ 絵／降矢 なな 再話／木坂 涼
【出版社】グランマ社 【初版年月】2009.5

この絵本には、「うさぎとかめ」「ありときりぎりす」などのイソップ童話が9作品収録されています。どれも皆さんが知っている定番のお話ですが、なんと！これらお話にはイソップ童話にみられる教訓が入っていません。降矢ななさんの迫力ある絵も魅力的。大人でも、もう一度読んでみたい1冊です。



2~3
歳向け

『おおきなかぶ(ロシアの昔話)』

再話／A.トルストイ 訳／内田 莉沙子 画／佐藤 忠良
【出版社】福音館書店 【初版年月】1966.6

子どもの頃に読んだことがあるお父さんお母さんも多いはず。小学校の教科書に掲載されていますが、幼稚園や保育園でも人気があります。「うんとこしょ、どっこいしょ」という掛け声で、おじいさんと一緒にカブを引っ張っているような気分になり、だんだん力が入ります。一人で読むのも良いけれど、みんなで読むのもっと楽しい。喜びを共有できるお話です。さあ、みんなで力を合わせて、大きなカブを抜きましょ。



4~5
歳向け

『おだんごばん』

訳／せた ていじ 絵／わきた かず
【出版社】福音館書店 【初版年月】1966.5

おばあさんが、粉箱をわざわざ引っかけて集めた粉で、おだんごばんを焼きました。窓のところで冷やされたおだんごばんは、ころんと転がり、椅子の上へ。また、ころんと転がり床へ。床から戸口を出て、ころころ表の通りへ逃げ出します。途中で出会ったウサギからも、オオカミからも、クマからも上手に逃げたのに、口のうまいキツネに、つい気を許してしまいます。柔らかでおいしそうなおだんごばんの冒険。ロシアの昔話です。



4~5
歳向け

『ブレーメンの音楽隊』

原作／グリム兄弟 絵／リスペート・ツヴェルガー 訳／池田 香代子
【出版社】BL出版 【初版年月】2007.5

歳をとって飼い主の下を逃げ出したロバは、楽師になろうとブレーメンに行くことにしました。途中で似た者同士のイヌとネコとオンドリに出会い、一緒に旅することにしましたが…。繊細で幻想的な筆使いで描かれた動物たちの表情がとても豊かで、眺めているだけでも楽しめます。特にクライマックスの4匹のフォーメーションが絶妙！穏やかな調子の語り文なので、寝る前の読み聞かせにもお薦めです。



昔話(世界)



5歳～
向け

『スーホの白い馬』
再話／大塚 勇三 画／赤羽 末吉
【出版社】福音館書店 【初版年月】1967.10

モンゴルに伝わる美しい音色の楽器、馬頭琴の由来になった物語です。物語の舞台の広い草原が、横長の見開き画面を生かして表現されており、お話のスケールを感じられるようになっています。少年と白い馬のお互いを大切に思う気持ちが、お話の中から伝わってきて、淡い色彩の絵が、そんな二人の切ない美しい物語に深みを与えています。年代関係なく、ずっと読み続けられていく絵本でしょう。



5歳～
向け

『ラプンツェル』
原作／グリム 文・絵／バーナデット・ワッツ 訳／福本 友美子
【出版社】BL出版 【初版年月】2006.6

原話はグリム童話。バーナデット・ワッツが日本の読者のために描き下ろした、柔らかな絵によって、子どもと一緒に楽しめます。魔法使いは塔に美しいラプンツェルを閉じ込め、毎日塔の下にやってきて、呼び掛けます。「ラプンツェル おまへの髪をおろしておくれ」。あるときラプンツェルが、歌を歌っていると、王子が馬に乗って通りかかりました。王子は、その声に魅せられ……。真実の愛は彼女を救うことができるのでしょうか。



5歳～
向け

『おかしなゆき ふしぎなこおり』
写真・文／片平 孝
【出版社】ポプラ社 【初版年月】2012.11

寒い冬の日、空からしんと降ってきた雪は、積もる場所によって、いろんな形になります。この絵本では、雪や氷のさまざまな形を、きれいな迫力のある写真で見ることが出来ます。岩の上の大福みtainふっくら雪。車の上にゆっくり積もったパンケーキみたいな雪。太陽の暖かい日差しでゆっくり溶かれ、餅のように伸びた雪。波のしぶきでできた、氷のシャンデリア。冬の冷たい空気と水が作る不思議な世界を見てみましょう。



5歳～
向け

『シロナガスクジラより大きいものっているの?』
作／ロバート・E・ウェルズ 訳／せな あいこ
【出版社】評論社 【初版年月】1999.4

シロナガスクジラは体長30m、地球上で一番大きい生き物とわれています。でも、それよりも大きいもの、なんとたくさんあるんです! クジラをたくさん集めたものよりも大きい山だったり、山を集めたものよりも大きい星だったり……。数字だとイメージしづらいですが、絵で表すと楽しい比べっになります。動物の絵本かと思いきや、宇宙の壮大さをユニークに教えてくれる科学絵本です。



3～4
歳向け

『たんぽぽ』
作・絵／甲斐 信枝
【出版社】金の星社 【初版年月】1984.2

図鑑さながらに精密で美しく描かれたタンポポ。道端に咲いている花なので「さっき見たね」「こんな形だったね」と話しながら読んでみてください。冬の間の葉、土の中の根、つぼみから花が咲くまで、そして綿毛になって飛んでいく様子。花弁のように見える一つ一つが花であることなど、タンポポの生態がよくわかる1冊です。



5歳～
向け

『だって春だもん』
写真・文／小寺 卓矢
【出版社】アリス館 【初版年月】2009.4

目を閉じて、耳を澄ますと感じる春の訪れ。風、雪、滴、光、そして冬の間じっと力を蓄えていた、命あるものの力強さや息づかいを感じることが出来ます。現在、神奈川県から北海道へ移住し活動している写真家さんの作品で、北海道や東北地方の森で撮影された「春」の訪れを感じる写真絵本です。



5歳～
向け

『ちきゅうがウンチだらけにならないわけ』
作／松岡 たつひで
【出版社】福音館書店 【初版年月】2013.6

地球の生き物がみんな、あちらこちらでウンチをしたら、地球はウンチだらけになってしまうのではないかな? そんな疑問を感じたことはありませんか? 誰もが一度は心配をしたことがあるこの問題。イヌの目線、自然界でのウンチの役割を解説していきます。臭い、汚いと言われて遠ざけられがちなウンチですが、自然界ではとても役に立っているのです。知ればきっと、明日からウンチとの接し方が変わるでしょう。



3～4
歳向け

『ポットくんとミズくん』
文／真木 文絵 絵／石倉 ヒロユキ
【出版社】福音館書店 【初版年月】2006.3

ポットくんは花が大好きな植木鉢。ある春の夜、庭の落ち葉を食べていたミズくんとお会いします。友達になったミズくんは、ポットくんの知らないことを教えてくれます。それはびっくりすることばかり。トンネルの掘り方や卵や赤ちゃんのこと。子どもたちに身近なミズの生態や、環境に果たす役割が二人の交流と楽しいストーリーとともに展開する楽しい知識絵本です。『ポットくんのおしり』も併せてどうぞ。



3～4
歳向け

『ゆかいなかえる』
文・絵／ジュリエット・ケベシュ 訳／いしい ももこ
【出版社】福音館書店 【初版年月】1964.7

子どもにとってカエルは、オタマジャクシが変身する不思議で魅力的な生き物です。カエルが登場する絵本はたくさんありますが、この絵本では卵がかえり、オタマジャクシから成長し、冬眠するというカエルの生態が丁寧に描かれています。4匹のカエルが自然の中で歌ったり遊んだり愉快地暮らす様子は、カエルが苦手なお母さんでもきっとお子さんと一緒に楽しめます。生き物に興味を示すようになったら、ぜひ手に取って欲しい1冊です。



5歳～
向け

『ホネホネ絵本』
作／スティーブン・ジェンキンズ 訳／千葉 茂樹
【出版社】あすなろ書房 【初版年月】2010.9

様々な生物の「骨」に焦点を当て、丁寧かつ面白く紹介した絵本。カラーで骨のリアルな質感を表現し、206個ある骨について、指の骨から始まり部位ごとに解説しています。骨の仕組みや役割を知ることができ、巻末には、骨についての面白い情報もたくさん載っています。お子さんと一緒に読んで、お互いの骨の比べっこなどをしてみてはいかがでしょうか?



5歳～
向け

『夜空をみあげよう』
文／松村 由利子 絵／ジョン・シェリー
【出版社】福音館書店 【初版年月】2016.5

夕方、はるかはベランダで一番星を見つけました。それから毎晩、夜空を見上げ、いろいろな星に出会うことができました。「なかなか消えないのが星!」と思ったのは、国際宇宙ステーションでした。家族で星について語り、時には屋上にいて観測をし、最後はベルセウス座流星群を見に、山へキャンプに出かけます。準備をするアイテムも描かれ、双眼鏡でも、十分に星雲を満喫できることがわかります。夏の夜を楽しく過ごせる絵本です。

INDEX

年齢順

0~1
歳向け

まかせとけ	01
かくしたのだあれ	04

1~2
歳向け

おばけなんてないさ	03
おばけのアイスクリームやさん	03
きょうりゅうきょうりゅう	06
ふくろうのそめものや	08

2~3
歳向け

いろいろバス	01
おやすみ、はたらくくるまたち	01
ごろごろにゃーん	02
こわくないこわくない	03
とこちゃんはどこ	05
かえるをのんだととさん	08
おおきなかぶ（ロシアの昔話）	09
てぶくろ	10

3~4
歳向け

ふねくんのたび	02
ピン・ボン・パス	02
とらっくとらっくとらっく	02
すみっこのおばけ	03
こんたのおつかい	03
コンガラガッチどっちにすむ？の本	05
パンダくんのおにぎり	05
トリケラとしゃかん	06
おはようきょうりゅう	06
へっこきあねさ	08
こびととくつや	10
三びきのやぎのがらがらどん	10
ポットくんとミミズくん	11
たんぼぼ	11
ゆかいなかえる	11

4~5
歳向け

ドライブにいこう	02
すすめ！ゆきのきゅうじょたい	02
おばけでんしゃ	04
おばけのてんぶら	04
どろろんびょういんおおいそがし	04
どこどこどこ	05
シモンのおとしもの	05
さがそう！マイゴノサウルス	05
ミッケ！	06
きょうりゅうたちのおやすみなさい	07
ほね、ほね、きょうりゅうのほね	07
チョキチョキおじさんきょうりゅう王国	07
きょうりゅうのたまご	07
さるかに	08
こぶじいさま	08
さんまいのおふだ	09
だいくとおにろく	09
おだんごばん	10
ブレーメンの音楽隊	10
いそっぶのおはなし	10

5歳~
向け

きもだめし	04
もりのえほん	06
実物大恐竜図鑑	07
これがほんとの大きさ！続	07
ききみみずきん	09
さるかに	09
ももたろう	09
スーホの白い馬	11
ラプンツェル	11
シロナガスクジラより大きいものっているの？	12
ホネホネ絵本	12
おかしなゆきふしぎなこおり	12
ちきゅうがウンチだらけにならないわけ	12
夜空をみあげよう	12
だって春だもん	12

INDEX

五十音順

い

いそっぶのおはなし	10
いろいろバス	01

お

おおきなかぶ（ロシアの昔話）	09
おかしなゆきふしぎなこおり	12
おだんごばん	10
おばけでんしゃ	04
おばけなんてないさ	03
おばけのアイスクリームやさん	03
おばけのてんぶら	04
おはようきょうりゅう	06
おやすみ、はたらくくるまたち	01

か

かえるをのんだととさん	08
かくしたのだあれ	04

き

ききみみずきん	09
きもだめし	04
きょうりゅうきょうりゅう	06
きょうりゅうたちのおやすみなさい	07
きょうりゅうのたまご	07

こ

こびととくつや	10
こぶじいさま	08
これがほんとの大きさ！続	07
ごろごろにゃーん	02
こわくないこわくない	03
コンガラガッチどっちにすむ？の本	05
こんたのおつかい	03

さ

さがそう！マイゴノサウルス	05
さるかに	08
三びきのやぎのがらがらどん	10
さんまいのおふだ	09

し

実物大恐竜図鑑	07
シモンのおとしもの	05
シロナガスクジラより大きいものっているの？	12

す

スーホの白い馬	11
すすめ！ゆきのきゅうじょたい	02
すみっこのおばけ	03

だ

だいくとおにろく	09
だって春だもん	12
たんぼぼ	11

ち

ちきゅうがウンチだらけにならないわけ	12
チョキチョキおじさんきょうりゅう王国	07

て

てぶくろ	10
------	----

と

とこちゃんはどこ	05
どこどこどこ	05
ドライブにいこう	02
とらっくとらっくとらっく	02
トリケラとしゃかん	06
どろろんびょういんおおいそがし	04

は

パンダくんのおにぎり	05
------------	----

ひ

ピン・ボン・パス	02
----------	----

ふ

ふくろうのそめものや	08
ふねくんのたび	02
ブレーメンの音楽隊	10

へ

へっこきあねさ	08
---------	----

ほ

ポットくんとミミズくん	11
ほね、ほね、きょうりゅうのほね	07
ホネホネ絵本	12

ま

まかせとけ	01
-------	----

み

ミッケ！	06
ももたろう	09
もりのえほん	06

ゆ

ゆかいなかえる	11
---------	----

よ

夜空をみあげよう	12
----------	----

ら

ラプンツェル	11
--------	----